



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 山口 正信

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	5,495	2.3	△627	—	△605	—	△550	—
23年12月期第1四半期	5,371	10.1	△385	—	△401	—	△509	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 △505百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 △482百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△32.06	—
23年12月期第1四半期	△29.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	22,149	13,805	60.8	783.94
23年12月期	22,980	15,138	64.2	859.03

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 13,467百万円 23年12月期 14,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,440	4.7	75	△76.9	0	—	△150	—	△8.73
通期	35,540	4.2	5,950	0.9	5,800	△0.9	2,820	5.2	164.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 上海豊匠服飾有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	17,185,650 株	23年12月期	17,185,650 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	6,258 株	23年12月期	6,258 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	17,179,392 株	23年12月期1Q	17,179,407 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により影響を受けた厳しい状況から、企業の生産活動の回復や震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、海外景気の下振れや原油高等の悪化懸念により、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力であることも写真事業において、競合他社と明確な差別化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,495百万円（前年同期比2.3%の増加）、営業損失は627百万円（対前年同期242百万円の損失増加）、経常損失は605百万円（対前年同期203百万円の損失増加）、四半期純損失は550百万円（対前年同期41百万円の損失増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(こども写真事業)

こども写真事業は、前年同様、「桃の節句キャンペーン」、「入園入学キャンペーン」、0歳～10歳のお子様を対象とした「みんななかよし撮影会」を中心に撮影件数の獲得を図るとともに、本格的な入園入学シーズンに向け、3月16日～3月22日の間、全国CMを放映いたしました。また、こども写真館以外の新たな取り組みとして、3月14日、京都梅小路公園内の「京都水族館」にアミューズメントスタジオをオープンいたしました。

これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、前年同期比で117.2%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は115.0%となりました。

国内の出店状況は、新規出店3店舗、退店1店舗を行い、次世代型への改装を34店舗実施いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館410店舗（直営店舗400店・フランチャイズ店舗10店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、合弁会社における台湾のこども写真館3店舗と中国のこども写真館2店舗を含め、420店舗となっております。

以上の結果、こども写真事業の売上高は5,440百万円（前年同期比7.9%の増加）、セグメント損失は643百万円（対前年同期324百万円の損失増加）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、高品質でデザイン性の高い衣装を企画・生産していく一方で、子会社である株式会社JVISと株式会社豊匠の2社で分担していた機能を株式会社豊匠に集約し、更なる生産コストの低減を図るための体制作りに着手いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は152百万円（前年同期比68.9%の減少）、セグメント損失は19百万円（対前年同期37百万円の損失減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ830百万円減少し22,149百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べ1,632百万円減少の10,293百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ801百万円増加の11,856百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ501百万円増加し8,343百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ116百万円増加の6,645百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ384百万円増加の1,698百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,332百万円減少し13,805百万円となりました。

これは主に、当第1四半期純損失及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成24年2月10日に公表いたしました当第2四半期連結会計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、上海豊匠服飾有限公司を新たに設立し、連結の範囲に含めております。この結果、連結子会社は4社となりました。また、新たに設立した子会社の報告セグメントは「衣装製造卸売事業」であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,897,707	6,935,779
受取手形及び売掛金	770,186	817,502
たな卸資産	789,762	973,521
その他	1,515,173	1,620,219
貸倒引当金	△46,550	△53,650
流動資産合計	11,926,279	10,293,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,808,140	4,321,522
その他(純額)	2,538,554	2,768,253
有形固定資産合計	6,346,695	7,089,776
無形固定資産		
投資その他の資産	540,712	567,795
敷金及び保証金	2,831,164	2,851,383
その他	1,477,942	1,485,621
貸倒引当金	△142,235	△138,335
投資その他の資産合計	4,166,871	4,198,669
固定資産合計	11,054,279	11,856,240
資産合計	22,980,558	22,149,613
負債の部		
流動負債		
買掛金	323,779	277,878
短期借入金	1,350,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	73,332	443,332
未払法人税等	1,195,585	138,561
関係会社整理損失引当金	181,000	166,434
その他	3,404,801	3,669,007
流動負債合計	6,528,498	6,645,213
固定負債		
長期借入金	36,670	548,337
退職給付引当金	410,543	425,539
資産除去債務	385,605	392,991
その他	481,018	331,609
固定負債合計	1,313,837	1,698,477
負債合計	7,842,335	8,343,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	10,924,541	9,600,730
自己株式	△9,222	△9,222
株主資本合計	14,856,717	13,532,906
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△99,137	△65,265
その他の包括利益累計額合計	△99,137	△65,265
少数株主持分	380,642	338,282
純資産合計	15,138,222	13,805,922
負債純資産合計	22,980,558	22,149,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	5,371,411	5,495,060
売上原価	4,429,743	4,720,839
売上総利益	941,668	774,220
販売費及び一般管理費	1,326,963	1,401,659
営業損失(△)	△385,294	△627,438
営業外収益		
受取利息	908	878
受取家賃	8,142	6,577
為替差益	—	13,442
雑収入	7,617	11,604
営業外収益合計	16,669	32,502
営業外費用		
支払利息	9,327	8,133
店舗解約損	9,568	—
為替差損	8,478	—
雑損失	5,499	2,033
営業外費用合計	32,874	10,166
経常損失(△)	△401,499	△605,102
特別利益		
負ののれん発生益	—	3,262
特別利益合計	—	3,262
特別損失		
固定資産廃棄損	42,364	96,792
減損損失	4,603	136,652
ゴルフ会員権評価損	—	3,285
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	249,231	—
災害による損失	65,141	—
特別損失合計	361,340	236,730
税金等調整前四半期純損失(△)	△762,839	△838,570
法人税、住民税及び事業税	42,569	113,372
法人税等調整額	△310,114	△408,350
法人税等合計	△267,545	△294,978
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△495,294	△543,592
少数株主利益	14,315	7,146
四半期純損失(△)	△509,610	△550,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△495,294	△543,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	—
為替換算調整勘定	12,554	38,229
その他の包括利益合計	12,724	38,229
四半期包括利益	△482,570	△505,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△498,336	△516,867
少数株主に係る四半期包括利益	15,766	11,504

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	こども写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,042,032	329,379	5,371,411	—	5,371,411
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	160,761	160,761	△160,761	—
計	5,042,032	490,140	5,532,173	△160,761	5,371,411
セグメント損失(△)	△318,676	△57,345	△376,021	△9,272	△385,294

(注) 1. セグメント損失(△) 調整額△9,272千円には、固定資産の調整額等45,131千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△54,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△) は、四半期連結損益計算書の営業損失(△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	こども写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,440,613	54,447	5,495,060	—	5,495,060
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	98,059	98,059	△98,059	—
計	5,440,613	152,507	5,593,120	△98,059	5,495,060
セグメント損失(△)	△643,199	△19,350	△662,549	35,111	△627,438

(注) 1. セグメント損失(△) 調整額35,111千円には、固定資産の調整額等79,194千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△44,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△) は、四半期連結損益計算書の営業損失(△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「こども写真事業」セグメントにおいて、工場及び店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては136,652千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。